



# 令和元年度 阿佐ヶ谷中学校 第3回学校運営協議会 会議録

日時 令和元年 7月 20日(土)

15:30～17:30

会場 阿佐ヶ谷中学校 校長室

出席者

《協議会委員》 岩間 功  
大石 秀明  
鈴木 政俊  
武田 裕美  
諸橋 記子  
柳澤 正  
横山 智彦  
渡辺 昌輝  
校長 小澤 雅人

《阿佐ヶ谷中学校事務局》  
佐々木 啓之(副校長)  
長谷川 祐子(嘱託事務)



小 澤 7月19日にテレビの取材がありました。今年工事をして取り付けたアリーナのエアコンについてです。普通教室のエアコンは31年前のもので、そろそろ機械を入れ替える時期なのですが、昨年の猛暑でアリーナのエアコン工事が先になりました。体育や部活に支障がないものを取り付けられました。機械は割高ですが、ランニングコストの良いガスエアコンです。

鈴 木 小中のCSが2年後には全校配置になります。学校評議委員会代表者会議というものと学校運営協議会代表者会議というのを一緒に行うことになりました。9月12日に区役所で行われます。

今年の目玉を決めなければなりません。

小 澤 今日話し合っていたきたいのは、①学校の棚おろし、②地教連との連携③CSが発足して1年たちました。1期2年間ということですので、更新されない方は申し出てください。

12月いっぱい任期が切れるのですが、このままのメンバーでやって行くという事でよいでしょうか？

渡 辺 CSを決めるのは推薦ですか？

小 澤 校長推薦が4名、学識経験者が3名、公募が4名です。校長含め全員で12名までとなっています。

鈴 木 メンバーを変える必要もないので、このままでよいでしょうか。

武 田 まだ漕ぎ出したばかりの船なので色々決まるまで、このままでよいのではないのでしょうか。

小 澤 ① 棚卸についてですが、9月の会議で教育長からも話がでると思うのですが、「学校の棚おろし」という学校活動の見直しをしてもらいたいという事です。「行事をやめてしまおう」という話ではありません。目標としては皆が関心をもって意見交換してほしいということです。学校の中でもそういう話をしてほしい。

② 地教連との連携ですが、杉七小の青少年委員になられた諸橋さんが、地教連のまとめ役をやってくれています。震災があった年は防災についてやっていましたが、今年は「学校の行事って何?」「今ある活動がなくなったらどうなるんだろう?」というテーマでディスカッションしました。参加者として意見を聞くだけでも色々な意見がありおもしろい企画だと思いました。

ディスカッションするという企画は面白いので、先生との意見交換会はいかがでしょう?これからの阿佐中生の姿について意見交換するのもいいかもしれません。皆さんと先生方、いずれはPTAの方や地教連の方と話し合うのもいいかもしれません。

小 澤  
諸 橋

では、先日の地教連の話を諸橋さんからお願いします。

先日の地教連では、地域の方、団体の方になるべくたくさんのお話をさせていただくには…という事で、トピックを先に決めるのではなく、皆さんが話したいこと、なかなか出てこない話題について考えていただきました。学校行事について「あって当たり前のものをなくしてみたらどうなるのか?」「地域の方と関わり深い体育大会をなくすとしたら、メリットはなんだろう」などという事を考えていただきました。

立場や年齢層の違いから考えてみるということをしました。その結果「すごくよく考えたが、それぞれの行事には意味があり、特に体育大会はなくしたくない。」という意見がほとんどでした。それぞれの思いや当たり前のことを見直してみるのは大事だと思いました。」



武 田  
小 澤  
柳 澤

阿佐ヶ谷中は校区が杉六小・杉七小と一体型なので、地教連としてもまとまりやすいですね。

そうですね。育成委員だと阿佐ヶ谷中と馬橋、阿佐ヶ谷中と杉森、そこに堀小・杉八・松ノ木なども関わってくるので、地域が少し広すぎます。

阿佐ヶ谷の校区はすっきりしていて良い。先日町会として出させていただいた時にも70名くらいのメンバーで35~40名は参加する。

グループで話し合うと、若い方もたくさんいました。私は退職して初めて地域と関わるようになってからの参加です。私の考えでは運動会や遠足はなくなると困るのではないかと思うけれど、先生や子どもたちはどう思っているのでしょうか。負担が減るという考え方もある…。

- 小 澤 「夏休みをなくすのはどうでしょう?」という意見もありました。昔は田んぼの仕事や夏祭りで休んでいたが、現代の家庭で仕事をしている保護者にとったら、休みが負担かもしれない。「2週間のお盆期間以外を活動日としてみたらどうだろう?」これができたら6時間授業を5時間授業にできる。部活もできる、子どもへの補充もできる…しかしそれをやると地域や保護者ははどうだろうか?都大会へのモチベーションがあがらなくなるのではないか。など色々な意見がでました。
- 柳 澤 夏休みや部活をなくしたらいいのでは?という議論もできますね。
- 小 澤 実際にこうしようというのではなく、柔軟に意見を出し合うのが大事です。
- 大 石 日頃の成果を見せる運動会などは、行事でなくては味わえない力を感じられます。
- 小 澤 体育大会では優劣をつけるのではなく、楽しい競技会にしたい。教員の働き方についても今のままでは変わらない。面白いヒントを探し、それが変化していく力になっていくと良いと思います。
- 岩 間 競技で楽しみをメインとすると、失敗してもいいんだという感情が、競う事をメインにすると責任感を感じるということにもなりますね。
- 小 澤 全員が1位になるのがセオリーなのか…。ある部分では競う事も大切だと思います。
- 大 石 入場行進は必要なのか?ただ入ってきて始めればよいのでは?という考えもあります。
- 柳 澤 今の運動会や体育大会は子どもだけのものじゃないと思います。見に来る人のものでもある。自由にダラダラやりたいなら、自分たちだけでやればよいのではという意見もある。
- 渡 辺 よりやりたい物のボリュームを増やすために、できない事を削るという先生方の意識が変わらないと、行事は何も変わらないですね。
- 岩 間 先生の意識改革も必要です。人から押し付けられたものではなく、自主的なもので変わっていったら良いですね。
- 鈴 木 価値観で人の見方も変わってきます。過剰労働は働いていく中でどうするか考えていく必要がある。今後教師の労働時間削減は進んでいくと思います。

